



泉だより 第382号

平成26年4月7日発行

西東京市立泉小学校

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-izumi/>

有終の美を飾る Izumi the final, Izumi Forever

校長 幸内悦夫

さわやかな春、本日、泉小学校は8名の新1年生を迎え、8学級206名で平成26年度がスタートしました。

泉小学校は今年度末で44年間の歴史を閉じることとなり、大切な年になります。この1年間は、子供たち一人一人に「泉小学校の歴史・伝統を振り返る場をつくり、思い出づくりをする中で、愛校心をはぐくみ、閉校の不安を取り除きながら、未来への希望・期待をもたせる。」ことができるように教育活動を進めていきます。現在、統廃合準備委員会が中心になり具現化に向けて細かい準備をしております。一人一人の子供たちの思い出に残り、そして、巣立った子供たちが泉小学校で過ごした日々を誇りにできるように工夫していきます。

また、住吉小学校と連絡会をもち交流事業の計画も進めています。先日、合同の遠足の实地踏査を行いました。二校の子供たちが楽しく触れあい、友達づくりの力がつくように工夫していきます。

指導体制に関しては、今年度は単学級の学年は担任と副担任がつき二人体制となります。副担任は専科の教員が担当します。スクールカウンセラーは子供たちの心のケアのため4名が配置され、月曜日以外の4日間、終日カウンセリングが可能となりました。

教育活動全般に関しては、今年度も今まで積み上げられた伝統を大切にしつつ、五本柱で展開していきます。

「あいさつ」「学び合い」「異学年交流・他校との交流」「体づくり」「読書」の五つです。それぞれの柱に関するキーワードは、

「あいさつ」については、丁寧な言葉遣い、相手への気遣い、感謝の気持ちです。なんとといっても、私たちの働きかけが命だと考えます。

「学び合い」については、言語の力の向上、すすんでかかわり合い伝え合い高め合う学びです。ここ

では、私たちの授業づくりが命だと考えます。

「異学年交流・他校との交流」については、関わり、思いやり、協力、連帯感、がキーワードです。一つ一つの活動の積み重ねが命だと考えます。

「体づくり」については、体力の向上、健康と安全の意識の向上です。活動の継続が命だと考えます。

「読書」については、キーワードは完読（最後まで読み通す力）静読（一冊の本を集中して読む力）です。私たちの意識づけが命だと考えます。

この1年間、Izumi the final, Izumi Foreverの精神で、知育・徳育・体育のバランスのとれた生きる力をはぐくみ、満足感、充実感で笑顔があふれる学校を目指し、そして、統廃合の充実した活動で有終の美が飾れるように教職員一丸となって努力してまいります。今年度も保護者、地域の皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



校章の由来（昭和46年5月31日制定）

シューベルトの歌曲「菩提樹」の歌詞に「泉にそいで繁る菩提樹、慕い往きては、美し夢みつ・・・」泉小学校と名付けられた本校が、若い力の源泉として、また子供たちの心の安らぎの場としての役割をと願う気持ちはこの歌詞と通じるものがあることから菩提樹の葉が選ばれました。5枚の葉は、人間として望ましい5つの資質「知・徳・意・体・和」を表しています。

※地域の方から、尉殿神社のそばに昔、池があり、それが地名、泉の由来だと伺いました。